

2019 年 12 月 17 日

報道関係各位

*** 2020 年（令和 2 年） ***

ビジネスマン・OLの年賀状に関するアンケート調査

株式会社パイロットコーポレーション

日本独特のお正月の習慣として、また、普段会えない人へのコミュニケーション手段として、私たち日本人にとって欠かすことのできないのが年賀状のやりとり。当社では、日本人の書き文字文化の象徴とも言える年賀状をテーマに、毎年『ビジネスマン・OLの年賀状に関するアンケート調査』を行っています。今回で 40 回目となる本調査は、首都圏のビジネスパーソンを対象に、11 月 1 日（金）から約 2 週間にわたり調査を実施しました。調査結果の詳細につきましては、次ページ以降をご参照ください。

報道関係者からのお問い合わせ先

株式会社パイロットコーポレーション

Tel. 03-3538-3700

〒104-8304 東京都中央区京橋 2-6-21

【アンケート実施概要】

調査期間 : 2019 年 11 月 1 日(金)～11 月 15 日(金)

サンプル数(概数) : 430 人

年代別サンプル比 :

年齢	男性	女性	合計
20 代	35	51	86
30 代	46	73	119
40 代	47	60	107
50 代	43	28	71
60 代	30	17	47
計	201	229	430

調査対象 : 首都圏の企業・団体等に勤務する 20 代～60 代のビジネスパーソン

調査方法 : 質問用紙の配付・回収による無記名留置調査

- * 集計データのうち、注釈なきものは、すべて単数回答を百分率化しました。
- * 単一回答でも小数点の都合上、合計値が 100%にならないものもあります。
- * 複数回答可の設問では、合計値が 100(%)を超えます。

【アンケート集計概要】

1. 年賀状を「出す」人、4 年連続の減少。「出さない」理由は、「LINE 等メッセージアプリで代用」がトップに。年賀状を用意するのは「12 月初旬」、投函するのは「仕事納め後」。
2. 新年の挨拶に使うツールは「LINE 等メッセージアプリ」がトップに立つが、「年賀状」にも一定の支持。
3. 年賀状を出す枚数、5 年連続減少。「友人・親類等」に出す枚数が増加。年賀状をもらう枚数は昨年平均「30 枚」から「38 枚」に大きく増加。「1 月 7 日の松の内までもらいたい」と思う人が 6 割超え。
4. 年賀状を出すのは「友人・知人」。「仕事関係」については、出たくない意向は昨年より強い様子。
5. 年賀状をもらってうれしいのは「友人・知人」。「特にいない」という声も一定数いる様子。もらってうれしい年賀状はやっぱり「手製」。
6. 年賀状に“手書きを入れる派”は 9 割以上！今年の年賀状は、和暦の「令和二年」より西暦の「2020 年」派が多数！
7. 「年賀状はあった方がいい」は 7 割を割り込むも、「会えない人との連絡が途絶えて困る」。「年賀状は無くてもいい」と考える人の半数は「SNS で代用」。

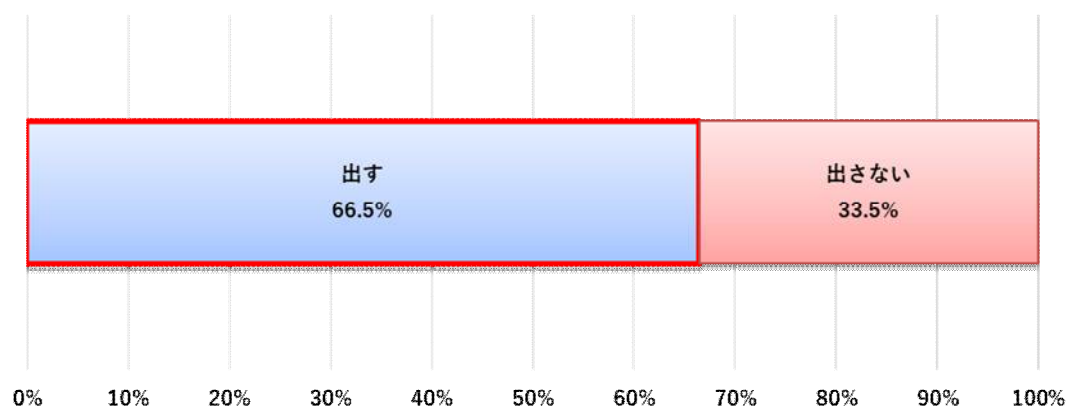
1. 年賀状を「出す」人、4年連続の減少。「出さない」理由は、「LINE等メッセージアプリで代用」がトップに。年賀状を用意するのは「12月初旬」、投函するのは「仕事納め後」。

2020年の年賀状を出すかどうかを尋ねた＜年賀状の予定 1-①＞では、「出す」と答えた人は66.5%となりました。2016年から4年連続の減少となりました。（2016年：84.4%→2017年：77.0%→2018年：73.1%→2019年：68.3%）

＜年賀状を出す理由 1-②＞は、昨年同様、「新年の挨拶として」（72.0%）、「日頃の無沙汰」（50.7%）、「毎年年賀状をもらうので」（33.9%）が上位になりました。一方、＜年賀状の予定 1-①＞で、年賀状を「出さない」と答えた人に＜年賀状を出さない理由 1-③＞を聞いてみると、今年は「LINE等メッセージアプリで代用」（47.2%）がトップに立ちました。次いで、「準備が面倒」（38.9%）、「メールで代用」（22.9%）になりました。

また、年賀状を「出す」人に＜年賀状の準備を始める時期／投函する時期 1-③＞を聞いたところ、年賀状の用意を始める時期は「12月初旬」が29.4%で一番多い結果になりました。また、その年賀状をいつ頃までに投函するかを聞いてみたところ、4割以上が「仕事納め後」（44.4%）と仕事を納めた後に用意する人が多いことがわかりました。

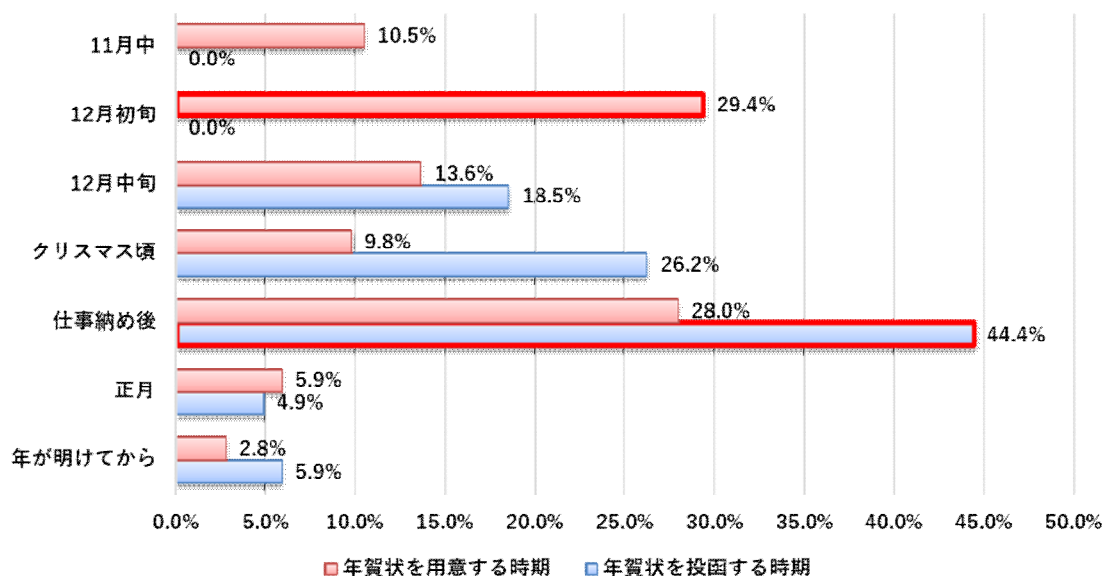
1-① 年賀状の予定 N=430（単一回答）



1-② 年賀状を出す理由 N=286／出さない理由 N=144

年賀状を出す理由 MA N=286			年賀状を出さない理由 MA N=144		
第1位	新年の挨拶として	72.0%	第1位	LINE等メッセージアプリで代用	47.2%
第2位	日頃、御無沙汰しているので	50.7%	第2位	準備が面倒	38.9%
第3位	毎年、年賀状をもらうので	33.9%	第3位	メールで代用	22.9%
第4位	近況報告	29.7%	第4位	年賀状を貰っても嬉しくない	21.5%
第5位	お世話になっている（なった）ので	26.6%	第5位	喪中	20.1%
第6位	義理・しがらみで	21.7%	第6位	郵便代などコストがかかる	17.4%
第7位	手紙をやり取りする貴重な機会	17.5%	第7位	相手の住所がわからない	17.4%
第8位	習慣で・なんとなく	16.1%	第8位	出す相手がいない	13.2%
第9位	親しさを表すしとして	15.4%	第9位	出す習慣がない	8.3%
第10位	年賀状をもらうのが好き	10.5%	第10位	SNS（Facebook,twitter,instagram等）で代用	5.6%

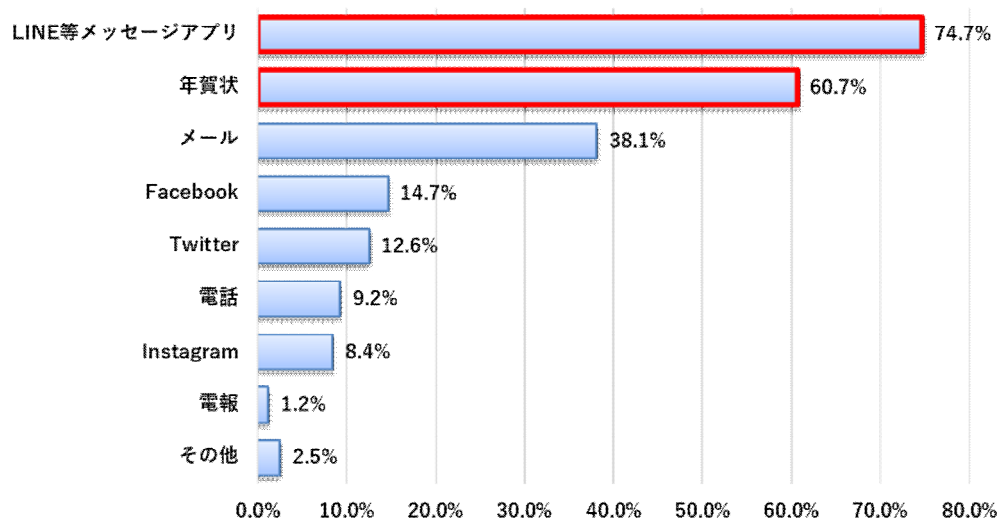
1-③ 年賀状の用意を始める時期／投函する時期 N=286（単一回答）



2. 新年の挨拶に使うツールは「LINE 等メッセージアプリ」がトップに立つが、「年賀状」にも一定の支持。

＜新年の挨拶で活用するツール 2-①＞について尋ねたところ、1 位は「LINE 等メッセージアプリ」(74.7%)で、次いで「年賀状」(60.7%)になりました。「年賀状」は昨年とほぼ同数(2019 年: 61.3%)で、一定の支持を得ているようです。

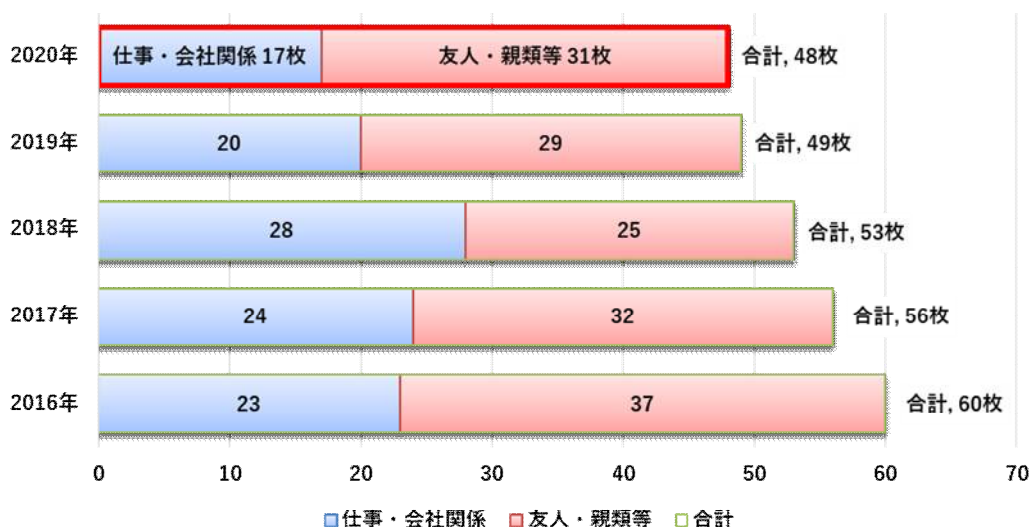
2-① 新年の挨拶で活用するツール N=430（複数回答）



3. 年賀状を出す枚数、5年連続減少。「友人・親類等」に出す枚数が増加。年賀状をもらう枚数は昨年の平均「30枚」から「38枚」に大きく増加。「1月7日の松の内までにもらいたい」と思う人が6割超え。

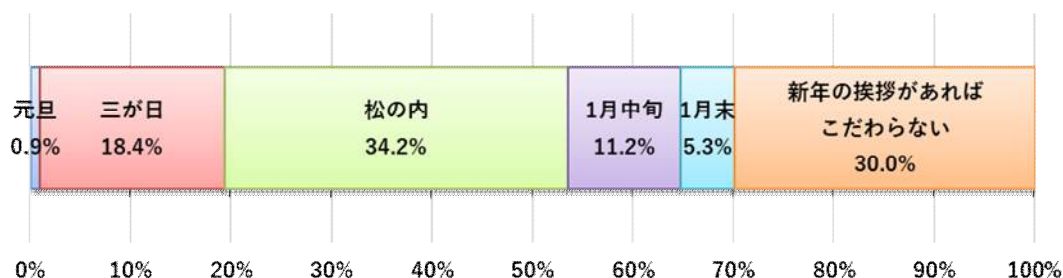
＜年賀状を出す枚数 3-①＞は、平均「48枚」となり、5年連続の減少となりました。＜年賀状をもらう枚数＞については、平均「30枚」となり、出す枚数がもらう枚数より「18枚」多い結果となりました。なお、今回の調査での年賀状を出す最多予定枚数は50代男性の「300枚」で、もらう枚数の最多も50代男性の「300枚」でした。

3-① 年賀状を出す枚数 N=286（数値自由回答）



＜どの時点までに届くものが年賀状か 3-②＞の質問では、「元日」(0.9%)、「三が日中」(18.4%)、「松の内」(34.2%)と半数以上が「松の内まで」(53.5%)までに届くものが年賀状と思っていることがわかりました。一方で、「年始の挨拶があればこだわらない」(30.0%)と答える人も多いようです。

3-② どの時点までに届くものが年賀状か N=430（単一回答）



4. 年賀状を出すのは「友人・知人」。「仕事関係」については、出したい意向は昨年より強い様子。

＜年賀状を出す相手 4-①＞は、例年と変わらず、「友人・知人」(91.3%)、「親類」(68.2%)、「会社等の上司」(39.9%)が上位に入りました。一方、＜できれば年賀状を出したくない相手 4-②＞は、約半数が「出したい人はいない」(46.0%)と答えました。次いで、「会社等の上司」(28.4%)、「取引先等」(24.4%)が続きました。会社関係の宛先はいずれも前回調査と比べて増し、今年は仕事関係の人に出したくないという意向が強い結果となりました。

4-① 年賀状を出す相手 N=286 (複数回答)

2020年			※参考 2019年		
第1位	友人・知人	91.3%	第1位	友人・知人	90.2%
第2位	親類関係	68.2%	第2位	親類関係	71.7%
第3位	会社等の上司	39.9%	第3位	会社等の上司	35.7%
第4位	会社等の同僚	30.1%	第4位	会社等の同僚	30.8%
第5位	学生時代の先輩・後輩	28.3%	第5位	恩師・恩人	27.3%
第6位	取引先等	27.3%	第6位	取引先等	27.3%
第7位	恩師・恩人	23.8%	第7位	学生時代の先輩・後輩	21.7%
第8位	部下	8.4%	第8位	年賀状友達	5.6%
第9位	年賀状友達	7.3%	第9位	部下	5.2%
第10位	息子・娘・孫	3.5%	第10位	息子・娘・孫	5.2%

4-② できれば年賀状を出したくない相手 N=430 (複数回答)

2020年			※参考 2019年		
第1位	出したい人はいない	46.0%	第1位	出したい人はいない	48.7%
第2位	会社等の上司	28.4%	第2位	会社等の上司	22.9%
第3位	取引先等	24.4%	第3位	取引先等	17.2%
第4位	会社等の同僚	23.5%	第4位	会社等の同僚	16.5%
第5位	部下	13.3%	第5位	部下	11.9%
第6位	恩師・恩人	4.7%	第6位	親類関係	7.9%
第6位	親類関係	4.7%	第7位	年賀状友達	5.0%
第8位	友人・知人	3.7%	第8位	恩師・恩人	3.3%
第9位	学生時代の先輩・後輩	3.3%	第9位	友人・知人	2.4%
第10位	年賀状友達	2.6%	第10位	学生時代の先輩・後輩	2.1%

5. 年賀状をもらってうれしいのは「友人・知人」。「特にいない」という声も一定数いる様子。もらってうれしい年賀状はやっぱり「手製」。

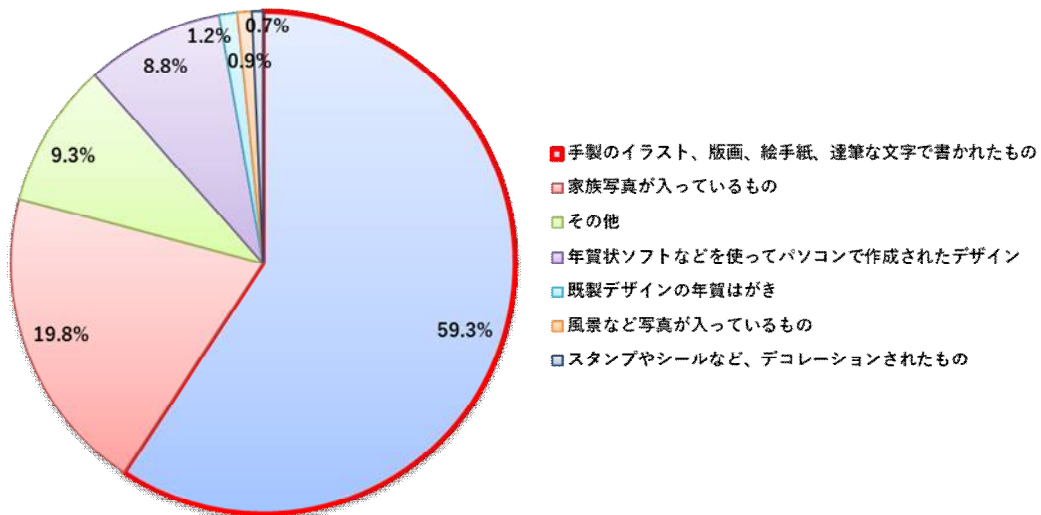
＜年賀状をもらって一番うれしい相手 5-①＞を聞いてみると、＜年賀状を出す相手＞と同様に「友人・知人」(65.8%)がトップで、大きく離れて2位に「親類関係」(11.2%)となりました。3位には「特にいない」(7.4%)というさみしい結果も見られました。

5-① 年賀状をもらって一番嬉しい相手 N=430 (単一回答)

第1位	友人・知人	65.8%
第2位	親類関係	11.2%
第3位	特にいない	7.4%
第4位	学生時代の先輩・後輩	7.0%
第5位	恩師・恩人	3.5%
第6位	彼・彼女	1.4%
第6位	息子	1.2%
第8位	取引先等	0.9%
第9位	会社等の上司	0.7%
第10位	年賀状友達	0.5%
第10位	その他	0.5%

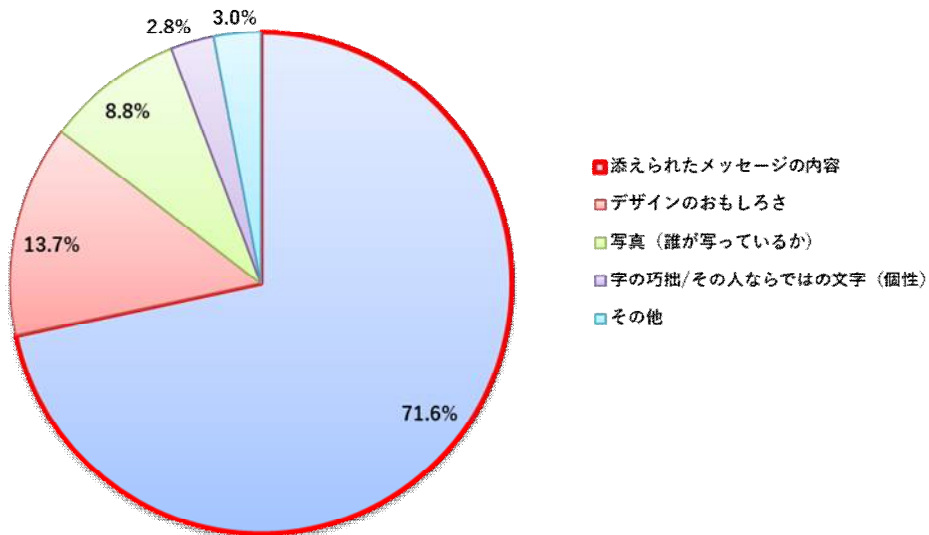
また、くもらって一番うれしい年賀状のタイプ 5-②>を聞いてみると、「手製のイラスト、版画、絵手紙、達筆な文字で書かれたもの」(59.3%)がトップになり、今年も手製の年賀状が人気を集めました。次いで、「家族写真が入っているもの」(19.8%)となりました。

5-② もらって一番うれしい年賀状のタイプ N=430 (単一回答)



<年賀状をもらって一番気になるところは何か 5-③>については、「添えられたメッセージの内容」(71.6%)が多くを占めました。出し手からのメッセージなどに着目している様子が伺えます。

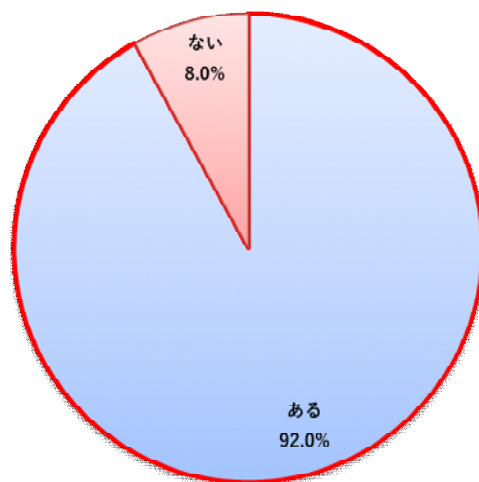
5-③ 年賀状をもらって一番気になるところは何か N=430 (単一回答)



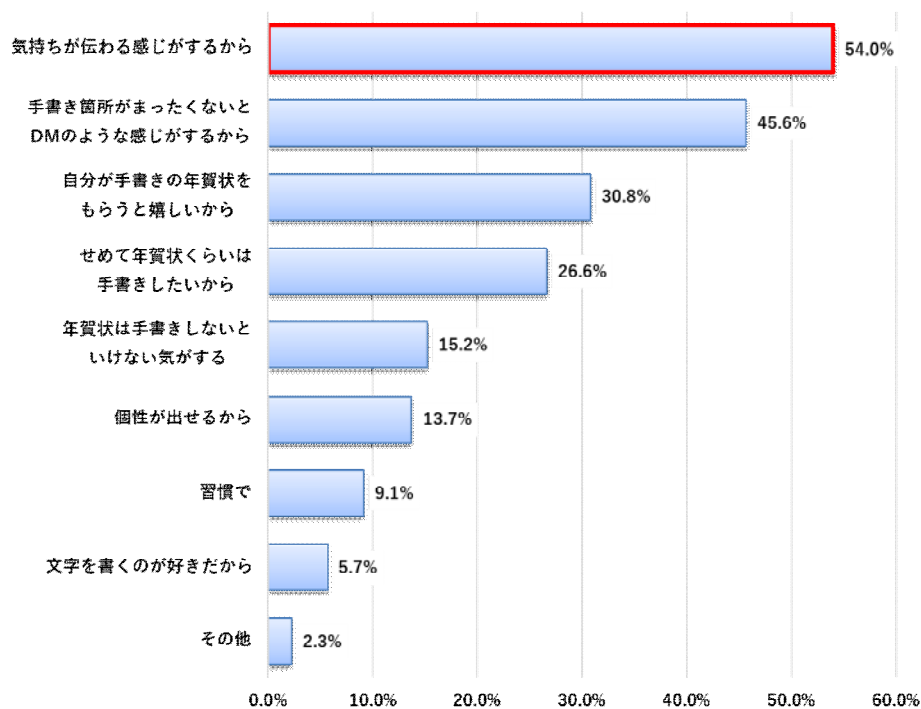
6. 年賀状に“手書きを入れる派”は9割以上！今年の年賀状は、和暦の「令和二年」より西暦の「2020年」派が多数！

＜年賀状の手書き箇所の有無 6-①＞を聞くと、92.0%の人が「手書き箇所がある」と答えました。昨年に続き、9割を超える支持を集めました。また、「手書き箇所がある」と答えた人に対して、＜年賀状を手書きする理由 6-②＞を尋ねると、「気持ちが伝わる感じがする」(54.0%)がトップ、「手書き箇所がまったくないとDMのような感じがするから」(45.6%)が入りました。

6-① 年賀状の手書き箇所の有無 N=286（単一回答）

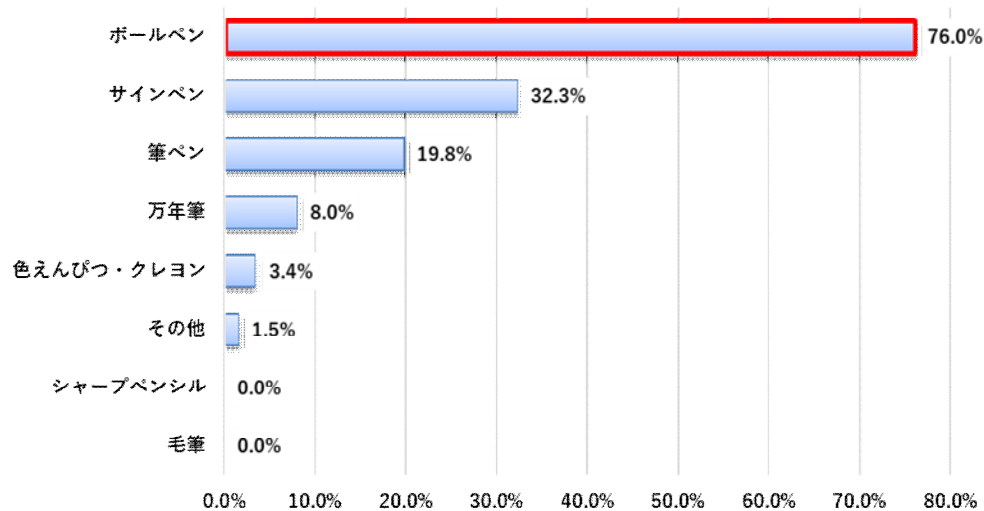


6-② 年賀状を手書きする理由 N=263（複数回答）



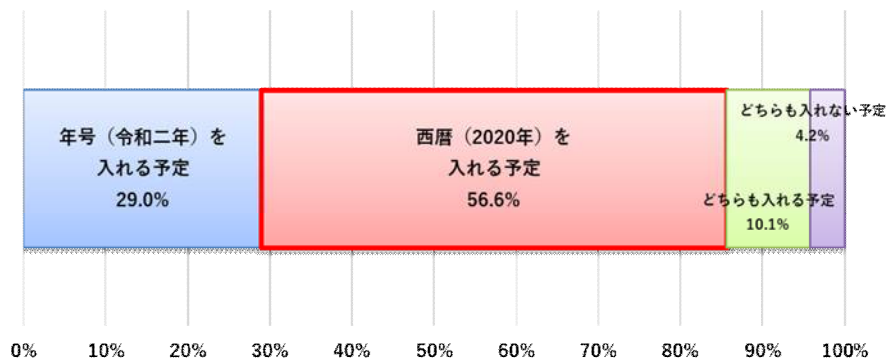
＜6-③ 年賀状の手書きに使う筆記具＞を聞いてみると、「ボールペン」(76.0%)が圧倒的な支持を集めました。次いで、「サインペン」(32.3%)、「筆ペン」(19.8%)が入りました。

6-③ 年賀状の手書きに使う筆記具 N=263 (複数回答)



また、新しい年号になり初となる今回の年賀状で、＜6-④ 今年の年賀状に年号・西暦を記載するか＞という問いでは、半数以上が「西暦(2020年)を入れる予定」(56.6%)と答え、「年号(令和二年)を入れる予定」は29.0%となりました。新年号より、節目となる西暦の2020年を年賀状に書く人が多いようです。

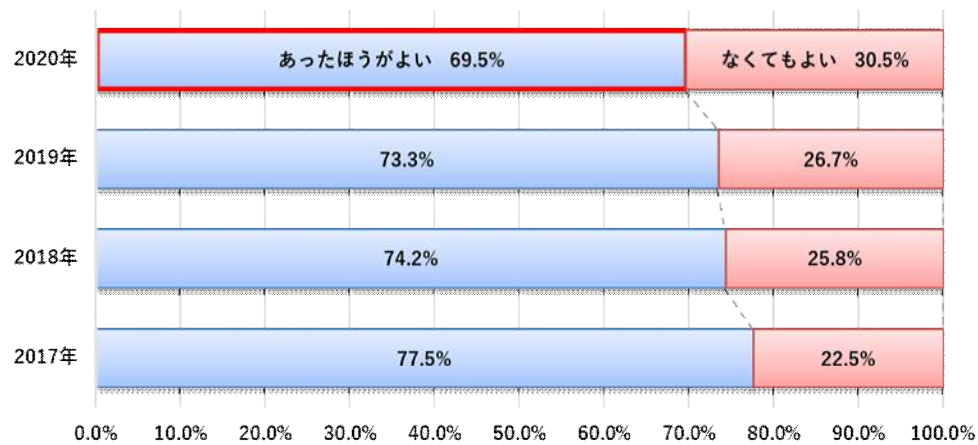
6-④ 今年の年賀状に年号・西暦を記載するか N=286 (単一回答)



7. 「年賀状はあった方がいい」は7割を割り込むも、「会えない人との連絡が途絶えて困る」。「年賀状は無くてもいい」と考える人の半数は「SNSで代用」。

＜年賀状があった方がいいか、なくてもいいか 7-①＞について尋ねたところ、69.5%の人が年賀状を「必要」と答え、7割を割り込みました。＜年賀状があった方がいいか、なくてもいいか 理由 7-②＞では、「会えない人との連絡が途絶えて困るから」(46.8%)がトップになりました。年賀状は交友関係を続けるための拠り所なのかもしれません。次いで「お正月らしくなくて寂しい」(43.8%)となり、今でも正月の風物詩として年賀状は欠かせないと思う人は多いようです。一方、不要だと思う理由としては、「SNS等で代用するから」(56.5%)が1位になり、年賀状においても、「LINE等のメッセージアプリ」の台頭を実感する結果となりました。

7-① 年賀状があった方がいいか、なくてもいいか N=430（単一回答）



7-② 年賀状習慣があったほうがいい N=299 / なくてもいい N=131 の理由（複数回答）

あったほうがよい理由			なくてもよい理由		
第1位	会えない人との連絡が途絶えてしまい困るから	46.8%	第1位	SNSなどで代用するから	56.5%
第2位	お正月らしくなくて寂しいから	43.8%	第2位	準備する手間が省けて楽になるから	49.6%
第3位	年賀状をもらとうれしいから	42.8%	第3位	出す・出さないを悩まずにすむから	48.9%
第4位	日本の伝統や独自の文化が衰退してしまうから	33.8%	第4位	クリスマスカードなどと兼用	3.1%